これからの住まいに求められる

大地震に負けない「高精度」を生み出す、製造舞台裏

設計～製造までをコンピューター制御、そして独自基準の 200 のチェック項目を設定。ミスやイレギュラーによる事故も事前に防ぎます。

「耐震等級３で設計されているから安心」ではなく、その耐震等級３はどのように作られているかを知ることが大事です













予想を超える強さだった

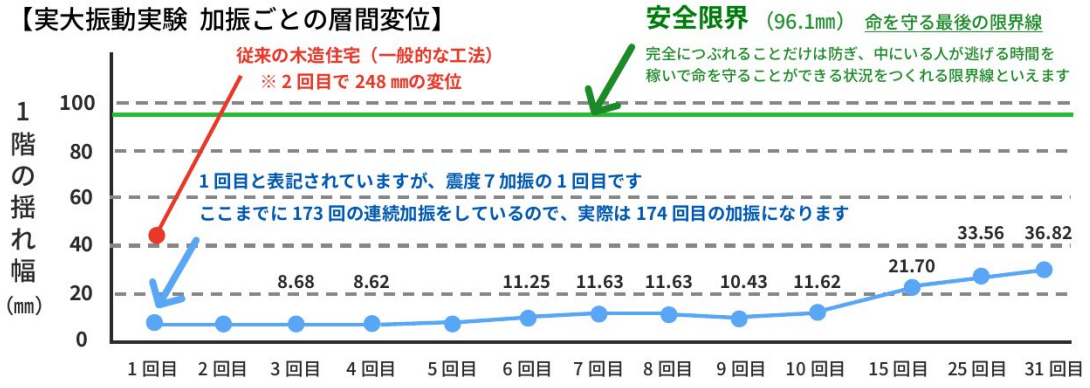
振動実験監修 清水先生が語るコーチパネルの強さとは



204 回の連続加振でも損傷無し

そのうち震度 7 を 31 回連続加振、自然界ではありえない加振





2026 年 コーチパネル実大振動実験 監修者

「木材ではつくれない」を覆す

椙山女学園大学
生活科学部環境デザイン学科 講師
清水秀丸 工学博士

コーチパネル実大振動実験で使用した地震波

益城町宮園波（2016 年熊本地震）、東日本大崎古川波（東日本大震災）、JMA 神戸波（阪神淡路大震災）
K-NET 富来波（2024 年能登半島地震）、エルセントロ波（アメリカ）、タフト波（アメリカ）、八戸波（十勝沖地震）
といった実際に発生した地震に加え、BSL 波という人工地震波まで、様々な地震を想定して加振実験を行いました。